

高津大山街道 マスタープラン

策定委員会
NEWS

3号

この通信は「高津大山街道マスタープラン策定委員会」による検討の状況を地域のみなさまにお伝えするために発行しています。

方針と具体的な取り組み について話しました

第3回の策定委員会では、マスタープランの骨格となる基本方針を基に、具体的な取り組みや重点的に整備を進めるエリア(キラリスポット)について議論しました。

大山街道の大きな模型も用意され、現場をイメージした議論が展開されました。



9月17日に、第3回「高津大山街道マスタープラン策定委員会」を開催しました。

基本方針

マスタープランの骨格となる基本的な考え方を定めます。

アクションプログラム

基本方針を実現するための、具体的な方策をアクションプログラムとして計画します。



キラリスポット

歴史的資源が点在する大山街道ですが、点在する資源は、辻や水路などの歴史的または地理的な条件により、一定の固まりとして残っています。

そこで、これらの固まりをキラリスポットと位置づけ、重点的に整備することで、街道らしさの再現を図っていきたく考えています。



委員会で出された主な意見をご紹介します

5つの方針案

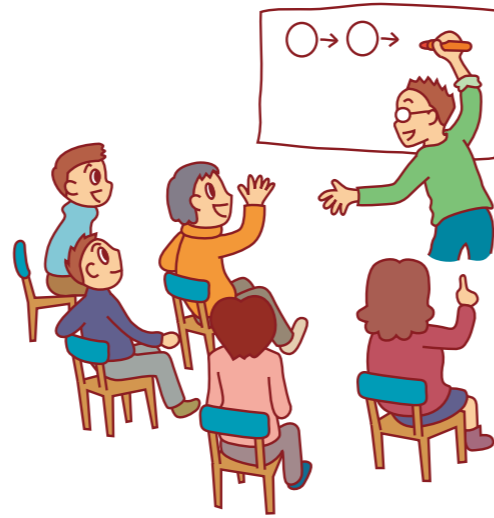
方針案1 誰もが安心・安全に歩ける道づくりを進めよう

方針案2 建物や街路の景観づくりを進めよう

方針案3 歴史的な建造物等の地域資源を活かし、人が集える賑わいの場をつくらう

方針案4 街道や周辺の資源を結び、回遊性のある魅力的なまちにしよう

方針案5 コミュニティの新たな担い手を育てよう



担い手がいないと絵に描いた餅になってしまう

特に大切なことではないだろうか

新たな担い手を育てるきっかけが必要ではないか

子育ては地域と関わるきっかけになる

場所とイベント両方が必要

まちの昼の顔、夜の顔を多様にし、交流の場づくりを！

継続的な仕組みや主体的に動く人が、市民主体で生まれてくると良い。

たくさんの市民の参加で企画を生み育てられるとよい

地域には、多くの組織があるので、連携していけるとよい

参画したものが形になると充実感をもってもらえるのではないだろうか

モデル事業は地域が関わり、参加者が広がる、継続的な取り組みにつなげることが大切

キラリスポットの候補と回遊性について検討をしました

キラリスポット候補

宗隆寺、溝口神社付近
＜自然、探索＞
お寺の山などで子どもたちが遊べるようになると良い

裏側の道
裏側の道を発見し、名前をつけたらどうか
趣のある舗装に変えられると良い

光明寺付近
＜学びの場の復活＞
昔あった二子学舎(明治7~9年)はコミュニティスポットだった

昔の三業地のなごりを残す
料亭やよいの塀など趣がある

二子神社とかの子碑
＜回遊性の拠点＞
回遊性の拠点になる
岡本かの子碑も見所のひとつ

東急高架下とのネットワーク

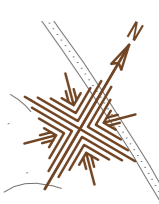
二ヶ領用水～灰吹屋
＜まちづくりの拠点＞
街道で最も資源の集まる中心な場所
自然の魅力もふるさと館などの施設もある

タナカヤ、溝口緑地付近
＜みどりと文教＞
溝口緑地のメタセコイヤの紅葉がきれい
住宅地への道も魅力的
材木屋の奥の神社も良い

飯島商店、ひらまや質屋
街道の中間、つなぎの場所

大陸天公園
大きな銀杏があり、オアシスのような場所

二子新地付近
新しいお店を大事にしたい
若い人に人気のエリア



みちまちカフェの報告

社会実験

2008.9.17(水)午後5時～7時半 大山街道ふるさと館中庭にて

大山街道及び周辺は、マンション化に伴い、若年世帯を中心とした新たな住民が増えています。

しかしながら、これらの世帯が地域コミュニティに関われる機会は少なく、にぎやかな大山街道にするためには、新旧住民が気軽に集まれる交流の場づくりが大切ではないかという意見が策定委員会でも出ておりました。

そこで、モデル事業として、街道沿いの貴重な社会的資源ともいえる大山街道ふるさと館を活用し、「みちまちカフェ」と題したオープンカフェの社会実験を実施しました。



中庭を人が集える場所にしてみました



大山灯籠にヒントを得た灯りの演出も

お問い合わせ先:

高津区役所 地域振興課

電話 044-861-3133 ファックス 044-861-3103

Eメール 67tisin@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/67/67tisin/home/ooyama/>

全5回の委員会で議論された内容は、各回通信でみなさんにお伝えします。

また、当委員会は傍聴できます(定員10名)。開催日時等は、上記ホームページを御確認ください。